拝啓　先般、ご令息におかれましてはご良縁ととのわされたとのことで、ほどなくご結婚との趣、何よりおめでたいことであられると心よりお祝い申し上げます。

　手塩にかけて育てられたご令息のご結婚、さぞかし万感去来が駆け巡ることと拝察いたします。○○家の皆様のお喜びはいかがばかりであろうかと、わたくし事のごとく嬉しさがこみあげてまいります。

　やがて、○○様には、お孫様に囲まれた幸せな日々も訪れることでありましょう。ご子息様、○○様の幸せなお顔が目の前に浮かぶようでございます。

　○○家のご繁栄を心よりお祈り申し上げます。本当におめでとうございます。

　後日また参上いたしまして、ご挨拶申し上げる所存でございますが、まずは略式ながらお祝いまで申し上げます。

　心ばかりですが、別便で粗品をお送りいたしましたので、どうかご笑納くださいませ。

敬具